

E N E O S 株式会社及び三菱商事株式会社によるプレスリリース
「和歌山製造所における持続可能な航空燃料（S A F）の製造に関する基本設計について」に関して

本日、E N E O S 株式会社及び三菱商事株式会社から、両者がE N E O S 和歌山製造所でのS A F 製造検討に関し、基本設計を共同で実施することに合意したこと及び当該基本設計の対象となる設備では、2 0 2 8 年度以降に年間約3 0 万トンのS A F 等の製造を想定していることについて発表がありました。

2 0 2 2 年1 1 月の和歌山製造所でのS A F 製造に関する事業化調査実施の発表時からS A F の製造開始時期が約2 年後ろ倒しになりましたが、これは昨今のカーボンニュートラル関連投資の需要増加によるエンジニアやその他のリソース不足の影響によるものと説明を受けており、昨今の経済環境に鑑みれば、一定の理解はできるものと受け止めています。

本日、E N E O S 株式会社からは、同時に和歌山製造所におけるS A F の製造に経済産業省の補助金を活用するとのプレスリリースがされています。これにより、国の支援も得て、E N E O S 株式会社は和歌山製造所でのS A F 製造事業を確実に実施し、推進していかれることが約束されたと考えています。

和歌山製造所のS A F 製造拠点化に向けた取組は一步ずつ着実に進んでおり、引き続きその実現に大いに期待しているところです。

有田市としても、今後も引き続きS A F 製造をはじめとした「未来環境供給基地」の実現に向けてあらゆる面で支援・協力してまいります。

令和7 年2 月2 1 日
有田市長 玉木 久登